



「古屋まさお」とともに歩む

友雅会 ニュース

発行元：友雅会

〒405-0007
山梨県山梨市七日市場816-7
TEL 0553-23-6688
FAX 0553-22-3700

■発行責任者：古屋 雅夫

今期も「友雅会ニュース」
通じて議会・地域等の情報
発信をしていきます。

副議長就任・2期目のスタート

苦渋の決断で国保税率の引き上げ、議員等報酬、職員給与削減に関する改正条例を可決



▲ スーシティーマ市・市長と古屋副議長
(姉妹都市10周年記念で本市を訪問)

5月1日から2期目がスタート、臨時議会（5月15日）では副議長に就任、重責を担うこととなった。新体制になって初の定例議会が6月3日～25日の日程で開かれ、①国民健康保険税の引き上げに関する一部条例の改正②ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正など条例関係3件③一般会計の補正（風しん予防接種費用の助成、花かげの湯の浴槽等改修事業）などが提案されました。

また、追加議案は市長等および職員の給与等の臨時特例に関する条例の一部改正（給与等の引き下げ）、報告事項7件が提案され賛成多数で可決しました。

議員提出案件は議員報酬を3%削減（9カ月間）する議員提出議案は全会一致で可決されました。教育環境整備等に関わる「請願」2件についても全会一致で議決、人事案件では選挙管理委員の選出、人権擁護委員の同意を行いました。

本号ではその一部について報告・情報提供します。

※ なお、内容は古屋まさおメモであることからの確表現、言葉足らずのところがありますがご容赦願います。

国民健康保険税（国保税）の 税率引き上げについて

国保税の引き上げ（加入者数1万1482人＜人口の約30%＞）についての市の提案理由は、①「国民健康保険特別会計」について平成24年度は、一般会計から5千万円、国保財政調整基金から9千9百万円余の全額投入し黒字となる見込み。平成25年度は過大の国の療養給付費負担金3千7百万円余の返納などがあり赤字となる見込みである②平成25、26年度の2年間を見据えると、25年度は一般会計から7千万円充当しても単年度で約2億円の税収確保が必要であり、被保険者1/2負担の原則を踏まえ、現行より平均20.41%の税率引き上げが必要。③また、「国保運営委協議会」の意見——を踏まえ提案した。

議会では、国民健康保険特別会計を圧迫している原因の一つとして毎年増加している医療費の抑制に向けた健康増進対策の具体化、税区分における資産割のあり方などについて、

さまざまな角度から議論がされ、①これ以上一般会計等から国保特別会計に繰り出しするのは市財政の圧迫し、他の市民サービスへの影響が出かねないこと②国保財政調整基金は底をつき限界にあること③特に高齢化の中で「元気に生活をするため健康増進対策と、医療費の抑制（年間約30億円）に向けた事業計画」「介護予防、生活習慣病対策」等を議会に示し、医療費の抑制の実効を目指すこと④低所得者等への配慮、市民への周知をしっかりと行うこと——など、今後の取り組み内容を確認した。税率の引き上げ、将来の制度の安定を問われる中で、「苦渋の決断」！採決の結果、賛成多数で可決された。

※この問題は各市町村が抱える課題であり、国政において

2面に続きます

1面からの続き

は「社会保障制度」に関わる制度のあり方、(税負担等)を早期に検討・改革を求めるものです。

▼ スーシティー市・教育長との姉妹都市締結10周年記念植樹



ル)を活用して約3000世帯分、1400KWの太陽光発電施設を民間事業者が建設することが明らかにされた。

市は大平牧場跡地については「農振地」であることから、太陽光発電施設の建設に向けての手続き等を支援していくこととしている。

■スーシティー市との記念行事に出席

6月12日～13日にかけて本市との姉妹都市であるアイオワ州スーシティー市・市長一行(10名)が、姉妹都市締結10周年を記念し、本市を訪問。古屋まさお市議も副議長として市長との意見交換を始め、歓迎レセプション、記念式典・記念植樹等に出席し相互の親善・交流を図りました。また、平成26年度には5回目の中学生派遣を行うことも両市で確認を行った。

市長、議員等特別職および市職員給与等の引き下げと背景

6月19日に追加提案として「市長等の報酬および職員の給与の引き下げ」に関する条例の一部改正案が提出された。この問題の背景には政府は東日本大震災等の財源を捻出するため各自治体に対し「速やかに国に準じて必要な措置を講ずるよう要請」(1月24日閣議決定)があり、「要請」には地方交付税減額という手法を用いたことである。「山梨市等の財源力の弱い自治体ほど影響力が大きい」と横内知事も「筋違い」との見解を述べた。(6月7日・山梨日日新聞)、竹越市長も遺憾の意を述べている。地方公務員給与は労使間交渉を経て自主的に条例で

定めたものである。このことは国と地方は「対等」から「上下」の関係に強くなることで地方自治体の財政自主権の根幹を揺るがすおそれがあり、極めて遺憾である。しかし、現実には山梨市に約5700万円の影響があり、交付税が減額されると市民サービスに影響が及ぶことから、市長等特別職5%、職員は平均3.45%、管理者手当10%を本年7月から明年3月まで削減することを賛成多数で可決した。また、議員報酬についても3%削減することを、全議員提出案件として可決された。

(平成17年、平成22年に続く3回目の削減)

■職員数も適正化計画により削減〔内部努力による人件費の削減〕

平成17年467人の職員数を平成27年度までに20%減の380人を目指す。

ん)が流行。市としては妊娠を予定している女性、妊娠している女性の夫を対象に接種費用の2分の1(上限5000円)を助成をする。

■風しん予防接種費用の助成を行う〔感染予防対策〕

全国的に20代～40代を中心に「風し

■三富・大平牧場跡地に太陽光発電の建設を目指す

三富の大平牧場跡地(169ヘクター



友雅会(古屋まさお市議)は、

坂口たけひろ(山梨選挙区)無所属
吉川さおり(比例区)

を応援しています。



★★★★★「友雅会ニュース」あとがき★★★★★



▼市議会は5月から議員定数18名(2名減)、新たな体制でスタート、平均年齢58才と若返り、幅広い層からの政策提言等に期待▼議会の活性化を目指す「議会改革特別委員会」の設置を行う▼臨時議会で副議長に就任、議会等の調整や議会を代表する仕事に於東奔西走▼富士山が世界文化遺産に登録、これを期に山梨市から見る「富士山」など景観づくりも推進していく▼平和国家・日本の将来が問われる参議院議員選挙。など一つ一つの課題に正面から向かい合い取り組んでいきます。

<http://www.e-masao.net/>